

## 2012 年度 第 3 回水工学委員会幹事会 議事録

**日時：** 2012 年 11 月 7 日(木) 12:00～13:00

**場所：** 土木学会 A 会議室

**出席者：** 寶馨 (委員長), 道奥康治 (副委員長), 篠田成郎 (幹事長), 大石哲 (編集幹事長), 今村正裕, 大槻英樹, 鬼束幸樹, 風間聡, 河原能久, 角哲也, 田中規夫, 戸田祐嗣, 中北英一, 中津川誠, 藤田一郎, 松山昌史, 矢島啓, 石平博, 泉典洋, 岩見洋一, 門田章宏, 神田学, 関根正人, 田中昌宏, 富永晃宏, 原田守博, 竹林洋史 (オブザーバー) [敬称略]

**議題：**

寶委員長からの挨拶の後, 以下の事項について審議が行われた。

### 《報告事項》

#### 1. 各部会, 小委員会の活動報告

##### a) 水文部会 (神田学 部会長)

報告事項なし。

##### b) 基礎水理部会 (富永晃宏 部会長)

10 月 21 日に熊本にて部会を開催。10 月 21 日～23 日に球磨川にて河川見学会を実施。

12 月 3 日に基礎水理シンポジウム(場所：土木学会講堂)を開催。

##### c) 環境水理部会 (代理報告：今村正裕 委員)

9 月 7 日に部会が開催され, 副部会長に角先生(京都大学)が選出された。

教科書作成 WG で教科書「環境水理学」を作成し出版することとなった。本件について, 9 月 28 日に土木学会・出版企画委員会に企画書を提出し, 10 月 30 日に土木学会出版委員会にてヒアリングを受けた (二瓶部会長が出席)。その結果, 委員会より出版に関する基本的な了承を頂いた。

11 月 22 日に環境水理部会・河川部会主催ジョイントワークショップが神戸大学瀧川記念学術交流会館にて開催される。

12 月 14 日に第 3 回流域圏シンポジウムが開催される。講演者等については来週公開される予定。

##### d) 河川部会 (泉典洋 部会長)

来年 6 月に河川技術に関するシンポを開催する予定。

12 月に会告。アブストラクト締切は, 1 月末。

##### e) 地球環境水理学小委員会 (中北英一 委員長)

気候変動予測情報創生プログラム (2012 年～2016 年) が開始。キックオフシンポジウムが 10 月 30 日, 31 日に京都大学(宇治)にて開催された。

創生プログラムについては, 国交省(国土水保全局)と連携して進めていく予定である。また, その関連で, 国交省や創生プロジェクトのメンバーからアゲールシンポで話題提供をいただくことを考えている。

##### f) 東南アジア河川流域研究小委員会 (河村明 委員長)

報告事項なし。

##### g) ISO/TC113 小委員会 (堀田哲夫 委員長)

報告事項なし。

##### h) 流量観測技術高度化研究小委員会 (藤田一郎 委員長)

報告事項なし。

##### i) JHHE 編集小委員会 (戸田圭一 委員長・川池健司 幹事)

報告事項なし。

##### j) 水理公式集改訂検討小委員会 (寶馨 委員長)

以前に出版された公式集(昭和 60 年度版, 平成 11 年度版)に関する Web アンケートを実施し, 評価・意見等を収集する。

アンケート実施のスケジュール：11 月にアナウンス, 12 月末から 1 月初めに締切。

寄せられた意見をもとに執筆者等を選定し、3月の水工学委員会で編集に関する素案を提示する予定。

なお、今回のアンケート実施に際しては、土木学会のサーバーでなく Google のサービスを利用する予定である。このサービスには、アンケート入力後に回答内容を確認してから送信する機能や、PDF ファイルの添付機能などは無いことから、回答方法等に関する注意書きをアンケートの最初のページに記載するなどの工夫が必要と思われる(幹事長)。

アンケートは基本、匿名であるが、図表(PDF)を伴うコメントについてはメールでの提出も受け付ける。

k) **水理実験指導書編集小委員会** (藤田一郎 委員長)

前回委員会で、メンバー構成案を提出したが、その後、三輪浩先生(舞鶴高専)を追加。高専等を中心に、指導書の利用状況に関するアンケートを実施する。これについては、水工学委員会の HP にもアナウンスを掲載する。

2. その他

特になし

## 《協議事項》

1. **第 57 回水工学講演会の関連行事企画について** (2012 年度, 名城大学)

名城大天白キャンパスにおいて、3月5日～7日に開催。初日(3月5日)にアゲールシンポジウム、河川災害シンポジウム、2日目(3月6日)に特別講演会を実施。

a) **アゲールシンポジウム** (中北英一 委員)

国交省や創生プロジェクトのメンバーからアゲールシンポで話題提供をいただく予定。(地球環境水理学小委員会の報告を参照)

b) **河川災害シンポジウム** (竹林洋史 オブザーバー)

講演内容については、下記の 2 案が示されたが、協議の結果、B 案を原案として進めることとなった。ただし、サンディの調査については、現在、予算等も含め調整中であり、もし実施できなかった場合には A 案とする。

A 案:九州の豪雨災害(小松先生, 大本先生), 北京の豪雨災害(京大 張先生)

B 案: A 案+サンディの調査報告

11月に実施概要を決定し、原稿依頼は12月初旬、講演原稿締切は12月中旬を予定

c) **特別講演会** (原田守博 委員)

以下の先生に講演を依頼し、内諾を得ている

山田雅雄氏 名古屋市立大学, 中部大学客員教授 (BOP 水ビジネスの展開)

上田博氏 名古屋大学 (豪雨の偏波レーダー観測)

※上田先生にはもう少し広いテーマでの講演をお願いする可能性もあり。

2. **第 18 回水シンポジウム 2013 (高知県) の開催について** (篠田成郎 幹事長)

2013年8月22日, 23日に高知市文化プラザかるぽーとにて開催。

メインテーマ: 清流でおもてなし ~志国高知で水との付き合い方を考える

想定参加者数 500名, 会場は 700名収容。

水工学委員会より, 委員長, 幹事長, 河川部会長, 四国地区委員が企画部会

(来年1月または2月に開催予定)に参加。

3. **第 58 回水工学講演会の開催について** (篠田成郎 幹事長)

2014年3月5日(水)~7日(金)に神戸大学六甲台キャンパスにて開催。

70名規模の教室を4室×3フロア。戎ホール(200名), C3-302(150名)も

利用可能。現在予約状況を確認中。施設(教室)使用料についても検討中。

ここ数年は参加者数が増加傾向で、収入も増加していたが、今年は投稿数が少し減ったため、昨年よりも収入源の可能性もある。会場費等の支出があることに加え、土木学会に大会収入

の30%をオーバーヘッドとして納めることから、委員会として参加者数を増やすこと(参加費等の収入確保)を意識する必要がある。(幹事長)

#### 4. その他(寶馨 委員長)

日本学術会議では、現在、大型研究提案についての意見を聴取している。農学系については、京都大学の谷先生を中心に提案を作成中である。また、災害分野(ICSUのIRDR関連)で、国際共同研究の推進枠組みのための提案を作成中である。

1月には、大型研究領域を選定し、プロポーザル公募が出される見通し。

次回の水工学委員会は3月5日 18:00-20:00を予定。委員長の改選があるため、定足数が満たされるよう委員に協力を依頼。

以上